

## 連合、支援政党明記せず

## 參院選方針 共産と共に推薦せざ

## 日本最大の労働組合の中

への影響は必至だ。

▼4面  
野党は困惑

参院選で支援政党を明記せず、政党と政策協定も結ばない基本方針案をまとめ、加盟組合に伝えた。共産党と「野党共闘」する候補者を推薦しない考えも盛り込んだ。2月中旬の正式決定をめざす。立憲民主党を中心とする野党陣営の参院選

▼4面=野党は困惑

連合はこれまで民主党の流れをくむ政党を支援し、昨年の衆院選も立憲、民主両党とそれぞれ政策協定を結び支援した。

夏の参院選は、両党の比例区から9人の連合組織内候補が立候補する予定だが、「政治動向は不透明」であることを念頭に「人物本位・候補者本位で臨む」とする。

昨年9月時点の基本方針案では「準備を進める」としていた両党との政策協定締結についても記述を削除。連合幹部は「今回は締結しない」と明かす。立憲支持の官公労系と国民民主支持の民間産別労組の対立が深刻化するのを避けるた